

琴浦西小学校



夢の架け橋



令和2年 10月5日 NO. 10

むかし むかし … 花をつくっては、とおい町まで 売りに行く おとこが あった。

木曜日の朝は、子どもたちがとっても楽しみにしている時間です。読書ボランティアの方々の、読み聞かせがあります。

ある日のことじゃ…

「あ～あ つかれた つかれた。もう いえへ かえる げんきもないわい。」

と、そのときじゃ…。

…この子(えびなます)を おつれください…。のぞみごとは、なんでも かなえてくれます。

琴西小には9名の読書ボランティアの方がおられます。この日は、5名の方が、読み聞かせをしてくださいました。

きものが ほしうございます。お金が、おさけが ほしうございます。

このあたりで、いちばんいっぱな、やしきがほしうございます。

ある教室をのぞいてみると、『はなたれこそうさま』という本を読んでいます。子どもたちの目が絵本に集中します。



ところがじゃ…。なんとしたことじゃー。…みんな みんな とんでいって しもうて…。

ただ ひとり、きたない 小さな いえのなかに、

ぽかーんと すわって あった。

「欲を出してはいけませんよ。」「友だちは大切にしてください。」「こつこつと働くのですよ。」子どもたちの頭には、自分なりの学びと想像の世界が広がっているでしょう。

子どもたちは、本が大好き。昔の紙芝居のように、大人の人に読んで聞かせてもらおうのが大好きです。



終わると情報交換です。

「この本がいいよ。」

「〇年生の子どもたち

喜んでくれたよ。」

本当にありがとうございます。

光の子学習（総合的な学習の時間） 4年生

社会福祉協議会の方々や手話グループ「手のひら」の方々から教えていただきました。次回は「点字」を学びます。



『車いす体験』 「段差を登るときには、前車輪をゆっくりと上げて・・・、段差をおりるときには、前向きではなく後ろ向きになっております。」
少しの段差がとても進みにくいこと、前輪の上げ具合を慎重にしないといけないことがわかりました。

『ガイドヘルプ体験』

ガイドする人は、危険な側に立ち、肩かひじにふれて歩きます。「あっち、こっち」ではダメ。「右・左・前・後ろ」といった方向や距離を伝えることが必要です。大切なのは会話です。

実際に目を閉じて歩いていると、不安がいっぱいでした。迷っている人を見かけたら、声をかけたいと思います。「お手伝いできることはありますか。」



『手話体験』

コミュニケーションが大切です。「手話」を知らなくても、「口話（口をはっきりとあけて）」・ジェスチャー・筆談などができます。コミュニケーションの取り方から学びました。

「指文字」での、「リス」と「犬」の表し方、「手話」で「みかん」と「バナナ」を伝える時は、手で皮をむく時の動作の違いで表すことを教えていただきました。

体験することが大切です。学習後の子どもたちの表情からは、満足が感じ取れました。

体験は、知識として学んだ理解から、さらに一歩進みます。体験しながら、「その人の立場になって」気持ちや心情を考えていくことができます。英語では、前者が「シンパシー」後者が「エンパシー」と区別されています。「エンパシー」は成長していく上で身につけていきたい力です。

学習の目標も今年度からは、「関心・意欲・態度」をふまえ、さらに主体性・追及・活用などの「学びに向かう力」となりました。より主体的になったのです。それが将来を自分からたくましく切り開いていく「生きる力」につながっていくものになります。

就学時健康診断 10月1日（木）

「来年の4月に、1年生になるみなさん『こんにちは』 65名（10/1現在）の、元気な声が返ってきました。「こんにちは！」 5年生のお兄さんお姉さんの後について、内科・眼科・耳鼻科・歯科の検診をしました。5年生の表情もゆるみます。でも、一番会いたがっていたのは、今の1年生かな。もう少し待ってください。「1日入学」で会えますよ。がんばって勉強している姿を見てもらいましょう。